

再エネ電力を捨てているって、ホント?! ふりそそぐ太陽光の発電も出力抑制される日本の現実

原発優先の出力抑制のルールを
日本も再エネ優先に!!

今年も暑い夏がやってきました。

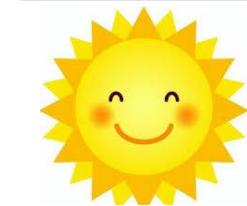
太陽光をはじめ、風力、水力など日本には再生可能エネルギーのポテンシャルが豊かに存在していると言われています。

ところが、国が定めた出力抑制のルールでは、発電量が電力消費を上回りそうな場合、再エネより原発の電力が優先供給されます。火力発電は、出力を絞りますが停止は求められていません。

再エネの出力抑制は18年度九州電力送配電エリアで初めて実施されて以来、25年度には日本中全てのエリアで実施されるようになりました。

25年度の再エネの全国の出力抑制は、約50万世帯の年間消費電力量に相当する約20億kWhと過去最大になりました。約600億円にもあたる再エネの出力抑制です。

再エネ電力を送電線に接続するためには、「無制限・無補償」の出力抑制に再エネ会社が同意しなければ、契約できない仕組みになっています。



政府が他国のように再エネ最優先のエネルギー政策に転換すれば、安心、安全で環境に優しく持続可能な社会を日本でも実現することができるといえます。

柏崎刈羽原発が再稼働されたなか、
いま私たちが力を合わせて取り組むことは

★原発が持っている異次元の危険性を明らかにし、「再稼働ストップ!」「原発のない新潟県を子や孫に残そう!」「再生可能エネルギーへの転換!」を市民のみなさんに広く呼びかけ共に考え行動し、政府にエネルギー政策の転換を求めていきましょう。

※柏崎刈羽原発6号機再稼働ストップを掲げ、しっかりと監視し小さなミスも見逃さない。全号機の廃炉を! ※実効性ある避難計画を求める。テロ対策特重施設未完成的のままの再稼働は認められない。有事に標的になる原発はなくそう。

※増え続ける核のゴミ問題。人間の手におえない危険な核のつけを未来に残すのはもうよそう。
※福島原発事故を起こした東電の責任を問い続けよう。



再稼働された今年こそ みんなで集まろうよ! 9・20 なくそテ原発柏崎大集会

◎屋内集会

☆講演：大島堅一さん

龍谷大学教授。原子力市民委員会座長
(ゼロネット13周年のつどいで講演好評)

☆報告：中山均さん

(新潟市議会議員、県民ネットワーク)

◎屋外マルシェも開催

～美味しいもの、楽しい音楽、素敵な品々がお待ちしています～

*長岡から貸し切りバスが出ます

*詳しい案内チラシは次号でお届けします。日程を確保しておいてね

*集会後パレードでアピールします

8月のアオーレ前宣伝行動は 8月11日(火・祝) 12時～12時30分 ぜひご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第171号 2026年7月21日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870

ホームページ

